

\*\*\*\*\*  
開講科目名：監査役監査論特殊研究（2単位）  
開設年次：1年 2年  
開設学部：会計学研究科博士前期課程会計学専攻  
担当者：佐藤 敏昭  
\*\*\*\*\*

《授業の概要》

企業経営者による不祥事などに対するコーポレートガバナンスが強く求められており、近時の上場規則にはガバナンスコードが置かれるようになっているが、その役割の中心主体者は監査役である。社会一般に、まだ監査役に対する理解が薄いように感じられるが、会社の規模別に、監査役がどのような役割を持っていべきか、検討していきたい。

〔授業の目標〕

監査役の上場会社での役割、中小会社での役割の違いを認識し、それぞれの監査役が、どこに力点を置くべきか理解してもらうことにある。事例を踏まえ解説していきたい。

〔授業の内容〕

第1回・・・監査役監査の特性と枠組み  
第2回・・・各国のガバナンス制度  
第3回・・・現行会社法における監査制度その1  
第4回・・・その2  
第5回・・・その3  
第6回・・・その4  
第7回・・・その5  
第8回・・・その6  
第9回・・・その7  
第10回・・・内部統制と監査役  
第11回・・・企業情報開示と監査役その1  
第12回・・・その2  
第13回・・・最近の監査役をめぐる議論その1  
第14回・・・その2  
第15回・・・総括

〔評価方法〕

授業への取り組み姿勢を第1にする。いくら出席していても授業態度の悪い者は低評価にする。  
試験やレポートは、実施しない。

《テキスト》

佐藤敏昭「監査役になったら一番はじめに読む本」東洋経済新報社